

問 山田北IC フル化の要望計画は

答 全町を挙げた取り組みを推進



きく ち こう めい
菊 地 光 明 議 員
(新 生 会)



フル化が望まれる山田北インター

問 山田北インターのフル化については、命の道や広域生活圏として共通認識を確認して、町及び議会を含めオール山田町として取り組むことを確認したことは、大変重要なことと認識している。町長の力強い方向性に敬

意を表す。そこで今年度はどのような要望活動を計画しているのか伺う。
佐藤町長 全国各地からフル化の要望の声が上がる中、山田北インターのフル化を実現させるためには、全町を挙げた取り組みが重要であると考えている。今年度は、国に対する要望強化を主眼に、フル化の必要性和期待される効果を具体的に提示し、地域住民及び北インター周辺企業からの声を盛り込む計画としている。要望活動に伴うバックデータについては、2年度に実施した山田北インターチェンジフル化必要性検討業務により、北インター周辺における企業の立地状況や就業実態のほか、救急搬送における課題などを取りまとめたところであり、これらのデータを基に、周辺土地及び町有施設の利活用についても検討を加え、推進したい。

問 町長の具体的な取り組み内容について改めて敬意を表す。町長をバツ

クアップする建設課長の決意を伺う。
佐々木建設課長 山田北インターのフル化をなんとしても実現させなければ

ばとの強い決意で取り組んでいく。一日も早い事業採択を目指し、熱意と使命感を持って職務に当たっていく。

問 磯焼け対策は

答 関係機関と協議する

問 磯焼け対策としてのウニの間引き畜養については、県の実証事業は順調に進んでいるようだが、本町における磯焼け対策について詳しく述べよ。
町長 今年3月に県が作成した「岩手県藻場保全・創造方針」において、本県の主な藻場衰退要因は、「ウニによる食害」、「砂等による基質の埋没」であり、「ウニの除去」、「藻礁ブロックの設置」が必要であると示されている。磯焼け対策など漁場環境の改善は喫緊の課題であり、対応可能な対策について関係機関と協議を進めていく。

その他の質問

- ◆コミュニティバスの試験運行の変更計画は
- ◆相続登記の未登記の解決は